

Wide Angle

「カメラは常に新鮮な景色を見せてくれる」

昨年「PhotoHeads」のフォトガイド3・4月号にて表紙写真としてご紹介させて頂いたPhotoHeadsの大田大安さん。昨年開催された「PhotoHeads写真展」を今年もart space tetraにて開催されるとの情報を頂いた。老舗の写真社の4代目としても活動し、その人生の殆どを写真業界と共に生きてきたと言っても過言ではない大田さんを、今回取材させて頂いた。

大田さんは福岡県北九州市戸畑区生まれ。大正元年創業の(株)大正写真社の4代目として、生まれてからずっと写真に囲まれた生活が当たり前で環境で生きてきた。物心ついたときにはカメラや写真と触れ合うことが当たり前、小学生の頃にはフィルム一眼で家族や友達を撮影していたという。そのような生活が当たり前過ぎて、高校卒業と同時に実家でもある大正写真社で働き始めた。他に就きたい仕事はなかったのか問いかけたところ、大きな理由はないけれど、写真以外の仕事に就くことは考えてもいなかったとのことだった。

20代の頃は「旅」をすることが好きだった。最初は日本国内を旅して周り、そのうち2〜3週間くらいの休みをもらって海外も巡るようになった。仕事で人を撮っていたから趣味で撮る写真は風景が多くなった。特に旅先で見る景色は全てが新鮮に思え、楽しくて風景ばかり撮っていたと話す。

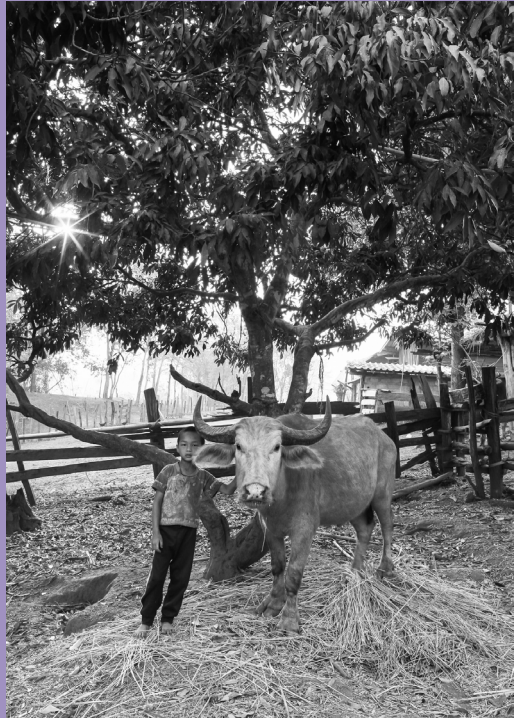
そのうち家族が増え、なかなか以前のように旅をすることも出来なくなった。子供を連れて巡る場所はいつもの決まった身近な場所で、いつも見ている風景のはずだった。でも、カメラを通してみた景色は、毎回新しい発見があり、新鮮な気持ちで撮影することができた。

自分にとってカメラや写真は当たり前過ぎて、他の写真家のような熱いものはないかもしれない。でも、生まれた時から写真文化に囲まれて、人生の半分は写真を撮り続けている。「写真文化と関わって生きている」その自負は小さな火かもしれないけれど、その火を絶やさずに撮り続けられればと思うと話すと大田さん。

PhotoHeadsは「Enjoy」がテーマ。写真好きが集まって「楽しみ」ながら撮った写真を発表している。写真に対して常に自然体に関わって、死ぬ直前まで自然に撮り続けていると思うと話してくれた。

肩肘張らず、常に自然体で写真を楽しまれている大田さん。今日もカメラを通して多くの新しい風景と出会い、撮影することを楽しんでいることだろう。

文 村上博史



Profile 大田 大安 HIROYASU OOTA



1982年北九州市戸畑区生まれ、(株)大正写真社四代目代表。代々続く写真屋家系に生まれ、以降ずっと写真がそばにある生活を送ってきた。休みがあれば旅に出て人と自然と触れ合う日々。30代からは風景を中心に写真を撮っています。写真グループPhotoHeadsとして主に福岡で写真展を開催中。

- 2019年3月 PhotoHeads写真展「Turn on Your LoveLight」
- 2019年11月 PhotoHeads写真展「Photographing of shining love light」
- 2020年12月 PhotoHeads写真展「Across The Universe」
- 2022年3月 PhotoHeads写真展「Make It Better」
- 2023年5月12日〜17日 PhotoHeads写真展「Flow」 Enjoy!!

福岡市美術館

福岡市中央区大濠1-6
092(7)4-6051
開館時間/9時30分〜17時30分(入館17時迄)
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)

●遊美塾福岡 写真展

5月6日(火)〜5月14日(日)
[ギャラリーB01]
写真および写真を使ったオブジェなど約130点を展示

●第22回福岡写後会写真展

山を想つひんぎ
5月23日(火)〜5月28日(日)
[ギャラリーE]
写真、約4.5点を展示

●九州産業大学芸術学部・大学院芸術研究科作品展「九芸展2023」

5月30日(火)〜6月4日(日)
[ギャラリーA000E1]
油絵、日本画、メディアアート、映像、写真、ポスター、パネル、金工、陶、染織、彫刻など約200点を展示

●ARS写真ワークショップ

「雑記帳」
それぞれの視線で
6月6日(火)〜11日(日)
[ギャラリーB01]
写真、約80点を展示



Color

6月13日(火)〜6月18日(日)
[ギャラリーA]
アクリル画、デジタル画、立体作品、写真、ペン画、色鉛筆画、水彩画等約50点を展示

●九州産業大学芸術学部写真・映像メディア学科百瀬ゼミナール写真展

6月13日(火)〜6月18日(日)
[ギャラリーB01]
百瀬ゼミナール所属の学部生、研究生、大学院生による写真約200点を展示

●九州産業大学芸術学部写真・映像メディア学科百瀬ゼミナール写真展

6月13日(火)〜6月18日(日)
[ギャラリーE1]
写真、映像、インスタレーションなど約130点を展示

●「閉眼」L'ATELIER BOIS 10th Anniv.

6月20日(火)〜6月25日(日)
[ギャラリーA]
植物レリーフ、コラーージュ、額装、写真リネス、ドライ、花材のオブジェ、インスタレーション、装飾など200点以上を展示

●福岡読売写真クラブ

第13回写真展
6月20日(火)〜6月25日(日)
[ギャラリーB]
全紙大写真(風景、人物、花、植物など)を約400点展示

福岡市美術館

福岡市中央区大濠10-16
093(4)22-0000
開館時間/9時30分〜17時(入館は16時30分迄)
休館日/月曜日(休)、祝日の場合はその翌日
<http://s-bunkai.jp/bhaku/>

●第31回林忠彦賞受賞記念写真展

新田樹「Sakralin」(サハリン)
5月12日(金)
↓5月21日(日)



李富子さん
ブイコフ(旧内淵) 2017

●写真集発行40周年記念

「西郷隆盛」
7月6日(日)まで開催中
[林忠彦記念室(補設)]
鹿児島をはじめとした南九州の風景を通じて西郷隆盛の生涯とその風土との関わりを描いた作品。林忠彦の風景写真の代表作。
観覧料/一般200円(1600円)
大学生等100円(800円)
※(一)内は団体(20名以上)
※林忠彦賞受賞記念写真展の会期中は無料

フォト銀友写真展

福岡銀行本店営業部
福岡市中央区天神2-13-1
092(2)23-2131
開館時間/平日9時〜17時(土曜10時)
休館日/日、祝日

●第26フォト銀友写真展

5月15日(日)〜5月26日(金)
福岡銀行退職者の作品展

長崎県美術館

長崎市出島町2-1
095(833)2110
開館時間/10時〜20時(入場は閉館30分前まで)
休館日/第一・第四月曜日(祝日の場合は翌日)

●第48回長崎市写真団体合同展

6月14日(水)〜6月25日(日)
[県民ギャラリー]
入場料金・無料

●第54回長崎県美術協会展

6月14日(水)〜6月25日(日)
[県民ギャラリー]
入場料金・無料

ギャラリー風

福岡市中央区天神2-8-136 新天町北通り
092(711)1510
開館時間/11時〜18時30分(最終日16時迄)

●室川康男写真展

くづげー Hyouger
6月5日(日)〜6月11日(日)
80歳節目の初個展です。見えるものの中に見えないものを見つけ写真による破調の美を求めています。10日(土)14時〜ギャラリートーク



掲載中の写真展は状況により変更となる場合がございます。

アートエリア asi-para(アジパラ)

福岡市中央区今泉2-4-39 拓栄ビル2F
090(2587)4076
開館時間/12時〜19時
<http://www.asi-para.com/>

●龍写真展「まんま。のまんま」

ししりさんとほくのはるやすみ
6月17日(土)〜6月25日(日)
写真家「龍」とモデル「ししり」のふたりが思い描く「はるやすみ」を20点展示。2020年の「はるやすみ」に続くシリーズ第2弾。

●龍写真展「まんま。のまんま」



●龍写真展「まんま。のまんま」

6月21日(水)
初日15時
18時迄

●龍写真展「まんま。のまんま」

6月13日(火)〜6月18日(日)

海漂房

福岡市西区今津8-3
092(401)0237
開館時間/金〜火12時〜18時(水曜は17時まで) 木曜日定休
※(株)エターナルラボプリント取扱店/写真展・写真の販売を希望の方にご連絡ください

●GIA Photographers Photo Exhibition

『名護市本部町今帰仁村』
5月7日(日)〜7月1日(土)
令和5年、沖縄県中部を撮影した写真十数点を展示。
※臨時休業日6月1日〜6月6日

●表紙の写真「ollie one foot」

石川 誠(いしかわ まこと)
1981年生まれ福岡市出身。18才頃からスケートボードを初め、いつの間にか写真の魅力に取り憑かれスケートボードの映像も撮るようになり、フィルム一兼フォトグラファーとして活動。skate shop LATITUDEを福岡市赤坂に構えて5年。現在は、福岡市東区にある、スケートボードパーク崎崎セクションの運営もし、広告写真等も撮っている。
■発行/フォトガイドふくおか発行運営委員会
〒812-0025 福岡市博多区店屋町4-8 蝶とビル205
☎092(287)5599 info@photoguide.fun
□デザイン ……神谷風花 □代表・編集長 …村上博史
□印刷 ……株式会社伸和
※7・8月号の情報・広告のお申込みは5月20日(土)〜27日(土)までにご連絡ください

